

中村 駿 選手(32歳) 副キャプテン 178cm 70kg

ホームタウン応援大使
高山市

ニックネーム
しゅん



写真：©FC GIFU

千葉県船橋市出身、今年2月から奥さんと6歳の長男、4月に誕生した次男と4人暮らしで充実した岐阜生活が始まっている。まだ遠出はしていないが、近所に公園やショッピングモールがあり生活しやすい環境で気に入っている。

船橋市立三山東小学校1年生の時に、両親がボランティアをしているサッカークラブFC MIYAMA EASTの練習を見学した時に練習参加を勧められ、サッカーをプレーしたのがきっかけだった。放課後ボールや荷物を持ってサッカーに明け暮れたFC MIYAMA EASTの6年間であった。

船橋市立三田中学校時代はウィングスSS習志野に入りMFが定位置になった。県のトップクラスのサッカー部を有する船橋市立習志野高校では、千葉県の国体サッカー代表選手になった。当時の同期が荒木大吾選手である。その後駒澤大学に進学し4年間サッカー部で頑張り大きなタイトルは取れなかったが、まだサッカーをしたいと思い駒澤大学監督秋田浩一氏の勧めで2016年J2ザスパ群馬に加入した。翌年からはJ2モンテディオ山形に4年間在籍し、この時期がプロとして一番成長出来たと思っている。

2021年7月にJ1のアビスパ福岡に移籍し、2023年の監督長谷部茂利氏の下でルヴァンカップを優勝することが出来た。

今回石丸監督とのご縁でレベルを上げているFC岐阜に加入し、J2昇格実現の力になりたいと思っている。まずは明治安田J2・J3百年構想リーグを全力で闘い、2026/27シーズンJ2昇格に向けて共に頑張ろうと決意している。

ホーム試合ではホーム感のある熱い応援があり、アウェイにも大勢の方が駆けつけてくれて、非常に力になっている。運動量では誰にも負けず熱いプレーをする中村選手の応援をよろしく願います。

百年構想リーグを振り返って

ファン・サポーターの皆様、ご支援をいただいている企業の皆さま、そして岐阜市をはじめとする42市町村の皆さまには、明治安田J2・J3百年構想リーグ中も熱いご声援をいただき、心から厚く御礼を申し上げます。



写真：©FC GIFU

Jリーグで初めてのJ2とJ3混成の10チーム4グループでのリーグ戦が開幕しました。リーグ戦を戦い、その後全てのグループの同順位同士で戦って、1位から40位までが決着するという非常に見ごたえのある戦いが行われました。同点引き分けがなく、同点であっても直ちにPK決着の劇的シーンで終了するので手に汗握って祈るシーンの連続でした。全力でのチームプレーの結果の後、選手個人の力量や運、不運によりますが、全力を出し切った選手達には、万雷の拍手が響き渡り、さわやかさが残ります。FC岐阜は10チーム中6チームがJ2のEAST-Bグループに所属して現在5位で善戦しています(5/14時点)。

昨シーズン9月に月間優秀監督賞を受賞した石丸清隆監督はクラブ初の7連勝を飾り、その好調を維持して現在に至っています。今シーズンのキャプテン福田晃斗選手、副キャプテン中村駿選手、羽田健人選手達とチーム結束の元に、2月には川本梨誉選手が2月度月間 MVPを受賞し、3月にはワッドモハメッドサディキ選手が3月度ヤングプレーヤー賞を受賞し、同時にU-21の日本代表選手として韓国遠征に参加するという名誉が続きました。

さて、この激闘を良き前哨戦にして、各チームは今後チーム再編、合宿を経て、いよいよ8月に2026/27シーズンが開幕いたします。

FC岐阜の頑張りの後押しする皆さまの力強いご声援とご支援を、2026年も変わらず賜りますよう、何卒よろしく願い申し上げます。